



【丹生堂】

【丹生にゆう】という山のなか、我が家のルーツがあります。雅号のように使おうと落款印を彫ってもらいました。

「新型コロナウイルス」という、私達の日常にかつて経験したことのない目に見えない禍とのつきあいが始まった昨年でした。お客様に御来店いただき、相対して接客することで商いになる小売業にとって、「密にならないで」「フェイスタンスをとって」「接触しないで」の対策は、取り組みはするもののなかなか厳しい環境です。これからの新しい店のあり様を考える中で、想いが至ったことを二つほどお伝えしてみます。

手も素顔も清潔にお手入れする

理容院（いわゆる散髪屋）さんで、男性であれば散髪してシェービング、女性の方だと顔てりをやってもうったことありますか？

とある人のご縁で理容院さんでシェービングして頂いた時に思ったことです。その手順は、顔をオイルでマッサージする。次にホットタオルで蒸らす。カミソリで剃る。ホットタオルを



ウツミ理容院

する。化粧水や保湿クリームを塗る。理容院では昔からずつと当たり前にやってこられたことです。この時の剃る前後の手順に「あつー」と思いました。なにかというところ、これ

て女性が毎朝毎晩やつてる「お肌のお手入れ」作業そのものじゃないかって。我々男性でも、このシェービングのさっぱり感が良いから必ず理容院へ行くという方もいらつしやいますよね。



毎日愛用の FloraLotion(化粧水) FaciaOil(オイル) ボウ・ベル・サンデ化粧品

このことに気づいて以来約一か月以上、お風呂上りに「化粧水を何度も顔に染み込ませ、さらにオイルを全体に優しく塗って」理容院でやっていただく「肌の手入れ」を欠かさずやるようになりました。

それからというものの、朝の髪そりで出血することもなくなり（以前は時々タオルを赤く染めておりました）、手洗いをしっかりすると同じように、肌の健康を保ち、ツルツルピカピカでいるように努力しています。

直してでも着たい服を商う

この「コロナ禍」は、今までの当たり前を捨てて、新しい時代に合った経営に変える、大きなチャンスに思えます。物質的な価値から、人のコミュニケーションや精神的な価値が生かされるような経営に移すチャレンジをしてみようと思えます。



w寸を小さくするサイズ直し

にウエスト寸法を小さくする基本的で簡単な「サイズ直し」の例です。パンツやスカートの丈直しなどもこの類いのものです。

【リメイクする】

どうしても処分できない思い入れのある服を、「あてもないこうでもない」とご一緒に考えて、生地を足したり、逆に裁断したり解いたりします。新しいスタイルの服に作り替えることがリメイクです。



劣化して朽ちた襟や前立てを異素材の生地で作替えて OPをキャミソールとスカートに分けて仕立て直し

「若い頃の服のほつが良かったのよ。」
「そうよね。」
「昔買った服だけど、捨てられないのよ。これどうにかならない？」
「お客さまの声に今、お応えしています。できることを一緒に考えます。お気軽にお持ちください。」